

献立ひとくちメモ

7月11日(火)



世界の料理のお話です。

今月も学校図書館とコラボした世界の料理が登場します。今年は、学校図書館にある「世界の市場（河出書房新社）」という本とコラボしています。この本は、海外の食文化について紹介しています。今月はドイツです。

フランクフルトは、中世1200年頃ドイツのフランクフルトで作られていたソーセージを「フランクフルター・ヴルストヒェン」と呼んでいたことから、この名前がついたといわれています。「フランクフルター」とはドイツ語で「フランクフルトの～」という意味だそうです。調理員さんが一つ一つ丁寧に焼いた、手作りフランクフルトです。パンに割れ目が入っているので、パンにフランクフルトをはさんで食べる時さらにおいしくなるので、おすすめです。

アイントプフとは、ドイツでよく食べられている家庭料理です。野菜や豆がたっぷり入った栄養価の高いスープです。